

平成22年(2010年)4月25日(日曜日)

(19)

みやぎ

いっぱい遊んで 障害児施設に 自転車や玩具

大崎「守る会」寄贈

大崎重症心身障害児(者)を守る会(大友祥子会長)は21日、大崎市三本木の知的障害児通園施設「大崎広域ほなみ園」の子どもたちに自転車や

バスル、ボールなどの遊具13点(約4万7000円相当)を寄贈した。守る会のメンバー2人がほなみ園を訪れ、直接子どもたちに遊具を届けたい。思わぬプレゼントに子どもたちは大喜び。早速自転車の周りを取り囲み、サドルに乗ったり、ベルを鳴らしたりして、外を走り回るのが待ち遠しい様子だった。

寄贈には同市のスーパ―「ジャスコ古川店」が協力した。同店は地域貢献の一環として、毎月1



自転車の周りに集まった子どもたち

日発行の黄色いレシートを買い物が専用ボックスに入れると、合計額の1%相当の品物を福祉団体やNPOに還元する活動に取り組んでいる。守る会の戸塚裕子副会長は「とても喜んでもらえてうれしい。存分に遊んでほしい」と笑顔を見せた。ほなみ園の佐々木孝園長は「皆さんの思いを大切にして使っていきたい」とお礼を述べた。

「ジャスコ古川店」が協力した。同店は地域貢献の一環として、毎月1